

経済活動の基盤を支える公認会計士は 「会計」「監査」のスペシャリスト

公認会計士とは

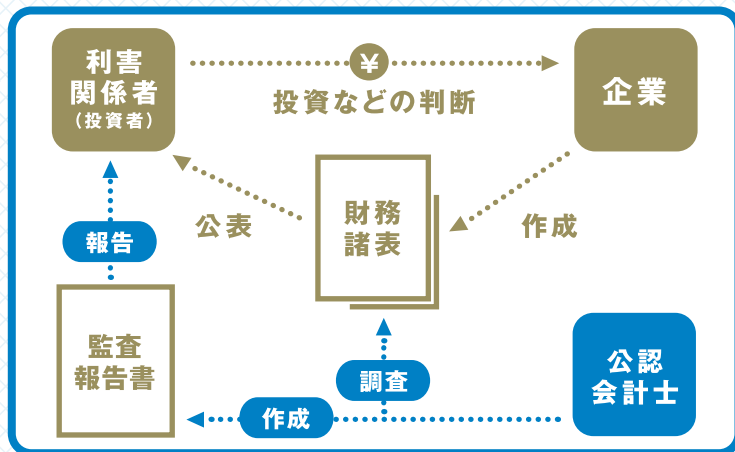
◎会計の側面から企業を診るドクター

公認会計士の仕事は、例えるならば“企業のお医者さん”です。決算書を読んで企業の健康状態(財政状態)を把握し、問題点を指摘したり、体質改善(業績改善)のために適切なアドバイスをおこなったりします。さらに大企業の経営陣と対等の立場で話ができるなど、他では味わえない貴重な経験もできる、やりがいの大きい仕事です。また、男女の分け隔てなく活躍でき、コミュニケーション能力が活きるのも公認会計士の特徴です。

公認会計士の主な仕事

◎監査業務

公認会計士のみ認められた業務。企業は決算書類(財務諸表)を作成し、株主や投資家、銀行などに対して自社の財務・経営状況を公表します。その際に株主や投資家などに代わって、利害関係のない第三者として書類に虚偽や不備がないかを厳正な目で確認し証明します。



この他に、コンサルティング業務・株式公開支援業務(IPO)・税務業務等、幅広く活躍の場があります。



合格の鍵は基本的なレベルの問題を正答すること

「誰も解けない問題を必死に解答する」のではなく、「みんなが解答できる問題を落とさないこと」がポイント

論文式試験の合格ラインは、得点比率の52%を基準にして一定の比率で判定しています。わかりやすくいうと「平均点より少し上」が合否のラインとなるので、いかに他の受験生が解ける問題を正答できるかが大切です。メインの科目である会计学(財務会計論・管理会計論)を中心にしっかりと学習を進めれば、十分初学者の一発合格が可能です。

試験ガイド 難易度 ★★★★★

	短答式	論文式
受験資格	なし	短答式試験合格者
試験内容	財務会計論、監査論、管理会計論、企業法	(必須) 会计学、監査論、企業法、租税法 (選択) 経営学、経済学、民法、統計学から1科目選択
出題形式	マークシート方式(択一問題)	試験科目に関する思考力や応用力を問う記述式
試験実施団体	公認会計士・監査審査会事務局 総務試験室試験総括係 URL http://www.fsa.go.jp/cpaao/	